

平成29年9月28日

原料費調整制度に基づく平成29年11月検針分のガス料金について (東京地区等)

東京ガス株式会社
広報部

東京ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、平成29年11月検針分の単位料金を、平成29年10月検針分に比べ、1m³(45MJ)につき0.70円(消費税込)下方に調整いたします。

今回の調整は、平成29年6月～平成29年8月の平均原料価格に基づくものです。

これにより、1か月に30m³のガスをお使いになる標準家庭で平成29年10月検針分と比較して、21円(消費税込)ガス料金が下がります。

平成29年11月検針分に適用するガス料金については、当社ホームページ等であらかじめお知らせいたします。

1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Fの各料金が適用されます。

(消費税込)

| 1か月の ご使用量 | 料金表A 0～20m ³ | 料金表B 21～80m ³ | 料金表C 81～200m ³ | 料金表D 201～500m ³ | 料金表E 501～800m ³ | 料金表F 801m ³ ～ |
|-------------------------------|----------------------------|-----------------------------|------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-----------------------------|
| 基本料金 (円/月) | 745.20 | 1,036.80 | 1,209.60 | 1,857.60 | 6,177.60 | 12,225.60 |
| 調整単位料金 (円/m ³) | 134.61 | 120.03 | 117.87 | 114.63 | 105.99 | 98.43 |
| (参考) 10月 調整単位料金 | 135.31 | 120.73 | 118.57 | 115.33 | 106.69 | 99.13 |

2. 標準家庭における影響

(消費税込)

| 1か月のご使用量 30m ³ (45MJ/m ³) | 平成29年 10月 | 平成29年 11月 | 増減 |
|---|-----------|-----------|------|
| 適用料金(円/月) | 4,658 | 4,637 | ▲ 21 |

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1か月あたりの平均使用量(平成24年度～平成28年度の5か年平均)に基づき算定しています。
- 口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から54円(消費税込)を抜いた金額となります。

3. 原料価格の変動

(円/t)

| | 平成29年5月～平成29年7月 の平均 (10月検針分) | 平成29年6月～平成29年8月 の平均 (11月検針分) | 対前期 差額 |
|-------------|---------------------------------|---------------------------------|-----------|
| 平均原料価格(a) | 48,760 | 48,040 | ▲ 720 |
| LNG | 48,640 | 47,980 | ▲ 660 |
| LPG | 48,690 | 46,970 | ▲ 1,720 |
| 基準平均原料価格(b) | 57,250 | | |
| 差額(a-b) | ▲ 8,400 | ▲ 9,200 | ▲ 800 |

- ・ LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

4. 単位料金調整額の算定方法

<原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

■ 平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} & \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} \quad \boxed{47,980} \times 0.9479 \\ + & \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} \quad \boxed{46,970} \times 0.0546 \end{aligned}$$

48,044.80

↓(10円未満四捨五入)

48,040 円/t

■ 原料価格変動額の算定

$$\boxed{48,040} \text{ 円/t} - \boxed{57,250} \text{ 円/t} = \boxed{\text{▲ 9,210}} \text{ 円/t}$$

↓(100円未満切捨て)

▲ 9,200 円/t

■ 単位料金調整額(m³あたり調整額)の算定

$$\text{単位料金調整額} = \boxed{\text{▲ 9,200}} \text{ 円} \quad /100\text{円} \times 0.08748^{*1}$$

$$= \boxed{\text{▲ 8.05}} \text{ 円}^{*2}$$

*1 変動額100円につき単位料金を0.08748(0.081×1.08)円調整します。

*2 調整額がプラスの時は少数点第3位を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位を切り上げます。

<標準家庭における影響>

(消費税込)

| 1ヵ月のご使用量 30m ³ (45MJ/m ³) | 平成29年 10月 | 平成29年 11月 | 増減 |
|---|-----------|-----------|------|
| 適用料金(円/月) | 4,658 | 4,637 | ▲ 21 |

・ 標準家庭料金の計算方法

東京地区等

$$\begin{aligned} \text{本体料金(税込)} &= \text{基本料金(1,036.80円)} \\ &+ \text{調整単位料金(128.08円} + \boxed{\text{▲ 8.05}} \text{円)} \times 30\text{m}^3 \\ &\quad \text{料金改定時の基準単位料金(税込) \uparrow} \quad \text{\uparrow 単位料金調整額(税込)} \end{aligned}$$

・ 本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（ガス1m³あたりの単価）を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格（57,250円/t）」と「平均原料価格（料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³あたり0.08748円（0.081円に1.08（消費税）を乗じた値）単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計実績によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が91,600円（上限値）を超えた場合には、「平均原料価格」は91,600円としてガス料金の調整を行います。